

大／阪／の／建／築／まちあるき——「みしま野」

おおさかいかだいがくれきしりょうかん
大阪医科大学歴史資料館

おおさかこうとういがくせんもんがっこうべっかん
(旧)大阪高等医学専門学校別館



サラセン様式が特徴的な別館



有形文化財登録を知らせる掲示板



入口上部のアーチと丸い装飾文様



異国情緒たっぷりの玄関廻り

所在地： 高槻市大学町 2-7
 最寄駅： JR 高槻駅東口から徒歩 8 分
 阪急高槻市駅から徒歩 3 分
 文化財指定等： 昭和 63 年高槻市指定文化財：
 同年解体修理施工
 見学： 外観見学は自由・内部見学は要予約
 見学入館料： 無料
 開館時間： 9:30～16:00・休館日：土・日・祝祭日ほか
 電話での問合せは大阪医科大学歴史資料館まで
 TEL： 072-684-6738

子供の頃、怪我をしてはメンタム(メンソレタム)のお世話になった方もいらっしゃるであろう。このメンタムを日本に伝え広めたのが、米国人ウィリアム・メレル・ヴォーリスである。ヴォーリスは建築家を志すが一時期挫折し、英語教師として来日する。来日後、彼は「近江兄弟社」を設立し、メンタムを普及させる。一方で、キリスト教・プロテスタントの教えを広める為に、キリスト教伝道者としても活躍し、 Hammond Organ を紹介するなど多彩な才能を発揮し、実業家としても成功する。

建築家としてのヴォーリスはまず、京都に事務所を構える。その後、建築家レスター・チューピン等の協力を得てヴォーリス合名会社を設立し、様々な建物の設計に携わることになる。住宅・学校そして教会建築。京都や滋賀に本拠地を置きながらも、彼の作品は日本各地に残っている。また日本だけに留まらず、朝鮮半島にまで及んでいる事は周知の通りである。1941年には日本に帰化、一柳満喜夫人の姓をとって一柳米来留(いちなぎめれる)と名乗った。大阪に残る代表作は大阪教会、大丸百貨店。

ヴォーリスが設計に携わった学校建築は幼稚園から大学までに至る。豊郷小学校はその改築問題でよく知られる処となった。また明治学院大学・同志社大学・関西学院大学の校舎はヴォーリス建築の特徴をよく現しており、ソウルの梨花女子大学も有名である。

高槻市駅前にある大阪医科大学にもヴォーリス設計の建物が残っている。大阪高等医学専門学校別館は大学の講堂として建設された。本「別館」はヴォーリスが設計した大阪高等医学専門学校の建物群の生き残りであり、平成15年7月1日、高槻市内で初めて国の登録有形文化財に指定された建物である。

当建物は3階建て、箱型建物の内部に階段教室と講堂等の諸室を合理的に納めている。外観はインドの様式美を備えた意匠で纏められており、インドサラセン様式的な装飾が見られ、タージマハルやフマユーン廟で見られる意匠のエッセンスが日本風に脚色されながらも鏤められている。(神保 勲)